

「アートと環境の未来・山口」  
「YCAM 10周年記念祭」

2013年10月18日 プレスリリース

山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭  
能楽作品

## 野村萬齋＋坂本龍一＋高谷史郎「LIFE -WELL (ライフ・ウェル)」

2013年10月22日(火) 14:00開演／19:00開演(30分前開場)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

### 伝統と前衛のこれまでにない融合

### トップアーティストたちによるコラボレーションがYCAMで実現

山口情報芸術センター [YCAM] では、YCAM10周年記念祭の一環として、狂言師の野村萬齋をはじめとする現代能楽界の担い手たちと、10周年記念祭のアーティストック・ディレクターを務める音楽家の坂本龍一、アーティストの高谷史郎とのコラボレーションによる新作舞台公演を開催します。

本公演の舞台空間となるのは、2007年に坂本と高谷がYCAMで滞在制作したインスタレーション「LIFE -fluid, invisible, inaudible... (ライフフルーイド・インビジブル・インオーディブル)」です。これは、坂本が1999年に手がけたオペラ「LIFE」をインスタレーションとして解体／再構築したもので、20世紀の歴史と音楽を総括するという壮大なコンセプトを持っています。

そこで上演される演目も古典作品だけに止まらず、現代能、戯曲、詩と、能楽という世界を軸に、古今東西の思想が交錯します。10周年記念祭のテーマである〈アート〉〈環境〉〈ライフ〉に、能楽という近代以前から続く言葉や身体、音楽が応答することで、さらに広い歴史的視野を通して、過去から未来を問いかけます。



写真：久家精秀

写真：田邊アツシ

左から野村萬齋、坂本龍一、高谷史郎



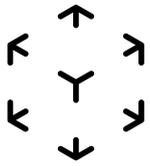
本公演の舞台となる坂本龍一＋高谷史郎のインスタレーション「LIFE -fluid, invisible, inaudible...」(2007年/YCAM委嘱作品)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

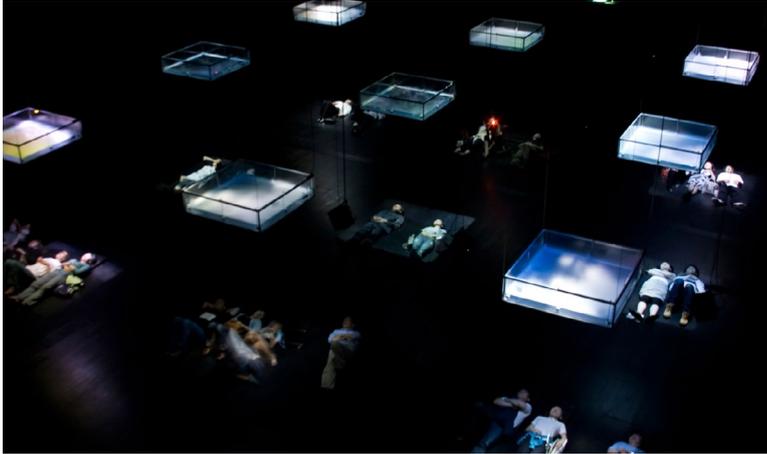


山口情報芸術センター  
Yamaguchi Center for Arts and Media

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 情報制作課 田中・澤田  
TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216 メールアドレス:press@ycam.jp  
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>  
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



## 能楽、演劇、音楽、メディアアートのコラボレーション「LIFE-WELL」



参考作品「LIFE-fluid, invisible, inaudible...」(2007年/YCAM委嘱作品)

11月1日からYCAMで開催される坂本龍一の展覧会「ART-ENVIRONMENT-LIFE」において重要なキーワードとなっているのが、水や大気といった自然の要素です。

今回の上演は2部構成となっており、その第1部では、3つの古典演目の上演を通して、この水や大気が、田畑や雲、海洋へと自在にその姿を変えながら描かれていきます。

続く第2部では、能楽に影響を受けたアイルランドの詩人で劇作家のW.B. イェイツの戯曲や、さらにそこから日本で生まれた能楽作品が登場します。

上演全体に通底しているのは、私たちの祖先が持っていた超常的な存在を含む自然への親しみや驚嘆、そして畏敬の念です。19世紀末から20世紀初めに書かれたイェイツの作品では、すでにそうした感覚を失いかけているがゆえに、強く求めて止まない人間の姿が描かれているのです。

このような能楽と演劇に加えて、音楽そしてメディアアートという多様なジャンルのコラボレーションが、時に即興的なセッションを通じておこなわれる点も、本作の大きな魅力の1つです。野村萬斎の朗読や舞、坂本龍一のピアノ、囃子方の演奏、そして高谷史郎の映像が、緊張感ある競演を展開します。

なお、タイトルにある「WELL」の語源は「湧き立つ水」であると言われており、そこから転じて現在では、井戸、泉、湧き水、油井(ゆせいの)他に、知識や感情といった目には見えない精神的所産の源泉、という意味でも使用されます。

### ■ 野村萬斎(のむら・まんさい)

狂言師。1966年生まれ。人間国宝野村万作の長男。祖父故6世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇や映画の主演、古典の技法を駆使した作品の演出、NHK「にほんごであそぼ」に出演するなど幅広く活躍。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、2012年度芸術祭優秀賞を受賞。著書に「MANSAI◎解体新書」(朝日新聞出版)、「狂言サイボーグ」(日本経済新聞社)等がある。世田谷パブリックシアター芸術監督。

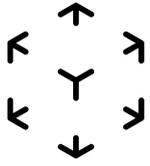
### ■ 坂本龍一(さかもと・りゅういち)

音楽家。1952年生まれ、米国ニューヨーク州在住。78年『千のナイフ』でデビュー、同年YMOに参加。YMO散開後、数々の映画音楽を手がけ、作曲家として米アカデミー賞を受賞するなど世界的な評価を得つつ、常に革新的なサウンドを追求している。2007年には「more trees」を設立し、温暖化防止についての啓蒙や植樹活動をおこなう。11年東日本大震災復興支援プロジェクトとして、「LIFE311 by more trees」「こどもの音楽再生基金」[www.kizunaworld.org]を立ち上げるなど、さまざまな活動を行っている。

音楽とアートを横断する柔軟な視点と、歴史・思想・哲学まで包含する幅広い知識に対してアートの分野からも信頼が厚く、2014年の札幌国際芸術祭(SIAF)のゲスト・ディレクターにも就任するなど、アート界への越境も積極的におこなっている。

### ■ 高谷史郎(たかたに・しろう)

アーティスト。1963年生まれ。84年、アーティストグループ「ダムタイプ」の創設時から活動に参加。ビジュアルワークを総合的に担当し、現在はディレクションに関わる。主な個人の活動としては、99年に坂本龍一のオペラ『LIFE』の映像を担当。2007年に坂本龍一とのコラボレーションによるインスタレーション『LIFE - fluid, invisible, inaudible...』を制作。08年にはパフォーマンス『明るい部屋』を、また12年にはパフォーマンス『CHROMA』を発表。



## 第1部：古典演目を通して描く、自然と人との関わり



坂本龍一・高谷史郎「LIFE-fluid, invisible, inaudible...」(2007年/YCAM委嘱作品)

### 狂言 田植 (たうえ)

賀茂神社に仕える神主が、神田に稲を植えるために氏子の早乙女たちを呼び出し、田植を命じます。田植歌を掛け合いに謡いながら、早乙女たちは田植を模した所作を行ない、神主は時に早乙女をからかいつつ舞い、ともに豊作を祈ります。

シテ (神主)：野村萬斎  
立衆 (早乙女)：高野和憲、中村修一、内藤連  
後見：飯田豪  
笛：一噌隆之  
小鼓：大倉源次郎  
大鼓：亀井広忠  
太鼓：小寺真佐人

### 舞囃子 (まいばやし) 賀茂 (かも) 素働 (しらはたらき)

〔早笛 (はやふえ)〕という急調子の囃子とともに、京都・上賀茂神社の祭神・別雷神 (わけいかずちのかみ) が現れ、雷を意のままに轟かせ、雨を降らし、それによって五穀を成就させ、国土を守護している様を見せます。

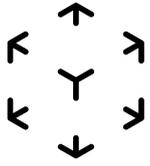
シテ (別雷神)：梅若紀彰  
笛：一噌隆之  
小鼓：大倉源次郎  
大鼓：亀井広忠  
太鼓：小寺真佐人  
地謡：上野雄三、山本博通、梅若基徳、鷹尾章弘

### 素囃子 (すばやし) 猩々乱 (しょうじょうみだれ)

〔猩々乱〕とは、能「猩々」が小書「乱 (みだれ)」付きで上演される際、シテである海中の獣・猩々が酒に酔いながら海の波に乗って舞う場面に演奏される囃子事です。その音楽は、緩急の変化が甚だしく、特別な修練を要する難曲となっています。

本作では坂本龍一と囃子方のセッションとして上演します。

笛：一噌隆之  
小鼓：大倉源次郎  
大鼓：亀井広忠  
太鼓：小寺真佐人  
ピアノ：坂本龍一



## 第2部：イエイツの戯曲と能楽の往還をテーマにした新作

### 「LIFE-WELL」

「鷹の井戸」(作=ウィリアム・バトラー・イエイツ 邦訳=松村みね子)

「鷹姫」(作=横道万里雄 節付=観世寿夫)

アイルランドの詩人・劇作家のイエイツは、友人を介してアーネスト・フェノロサによる能の翻訳テキストに出会います。そこで舞踊、詩、音楽が一体となって構成され、さらに超越的な存在の登場する能にイエイツは魅せられていきました。その結果、1916年に上演されたのが「鷹の井戸 (At the Hawk's Well)」です。さらに、この「鷹の井戸」は能楽研究者、横道万里雄によって新作能「鷹の泉」として翻案され、さらに横道により実験的な新作能「鷹姫」として書き直され、1967年に上演されています。

「LIFE-WELL」では「鷹の井戸」を朗読と音楽のセッション、「鷹姫」を新演出の能として上演します。

一人の女が枯れ果てた井戸を見守っている。その井戸には永遠の命が得られる水が湧くと言われている。そこへ一人の老人がやってくる。彼は50年以上、その井戸の水を待ち続けてきたのであるが、水が湧こうとするといつも、井戸守の女が老人を眠らせ、その間に水を持ち去ってしまうのであった。さらに、井戸のもとにクーフリンという若者が噂を聞きつけてやってくる。老人は若者の愚かさを説き、帰るよう諭すが、やがて、井戸守の女は鷹の鳴き声をあげ、舞を舞いはじめる—

「湖の島イニスフリー」(作=ウィリアム・バトラー・イエイツ 邦訳=高松雄一)

イエイツ20代の詩。彼が少年時代を過ごしたアイルランド北西の町スライゴのギル湖に浮かぶ小さな孤島を詠んでいます。ここにはイエイツによるケルト神話蒐集の経験も活かされており、日本の常世(とこよ)思想などに似た「常若(とこわか)の国」への憧れを見ることがもできます。

「LIFE-WELL」では、イエイツ自身による朗読音源が用いられます。

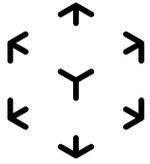
朗読者・空賦麟(くうふりん):野村萬斎  
シテ(鷹姫):梅若紀彰

笛:一噌隆之  
小鼓:大倉源次郎  
大鼓:亀井広忠  
太鼓:小寺真佐人

地謡(岩):上野雄三、山本博通、梅若基徳、鷹尾章弘、  
高野和憲、中村修一、内藤連、飯田豪

ピアノ:坂本龍一

第1部、第2部とも演目解説  
原瑠璃彦(本作ドラマトウルク)



「アートと環境の未来・山口」  
「YCAM 10周年記念祭」

2013年10月18日 プレスリリース

山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭  
能楽作品

#### 開催概要

### 野村萬斎＋坂本龍一＋高谷史郎

#### 「LIFE-WELL (ライフ・ウェル)」

演出／構成：野村萬斎、坂本龍一、高谷史郎

出演：野村萬斎、梅若紀彰、一噌隆之、大倉源次郎、亀井広忠、小寺真佐人ほか  
坂本龍一

2013年10月22日（火）14:00開演／19:00開演（30分前開場）

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

※当日は本公演開催のため、特別に開館いたします。

※これに伴い、館内で開催中の「Forest Symphony」、山口市中央公園で開催中の「コログルパビリオン」、山口市中心商店街で開催中の「FILM by MUSIC」も開場いたします。

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会、豊栄神社、野田神社

平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

協賛：SHISEIDO

制作協力：万作の会

機材協力：株式会社エクソル

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター[YCAM]

#### チケット情報

発売日：発売中

料金：[全席指定]

前売 一般 7,000円

any会員／特別割引 6,500円

25歳以下 6,300円

当日 7,500円 ※当日は各種割引対象外

※未就学児入場不可

※特別割引：シニア（65歳以上）、障がい者及び同行の介護者1名が対象

電話／窓口：

山口市文化振興財団チケットインフォメーション

**083-920-6111**

10:00-19:00 ※火曜休館、祝日の場合は翌日

インターネット：

**www.ycfcp.or.jp**

24時間受付※要事前登録

車椅子席・補聴システム

事前にお問い合わせください

#### 関連イベント／関連展示

##### 坂本龍一＋高谷史郎「LIFE-WELL」インスタレーション

10月20日（日）－22日（火）、26日（土）、27日（日）、

11月1日（金）、3日（日）、4日（月・休） 12:00－17:00 入場無料

会場：野田神社能楽堂・境内（山口県山口市天花1丁目1-2）

野外舞台の貴重な保存例である山口市・野田神社能楽堂。その境内で、上演とテーマを同じくするインスタレーションを展示します。伝統文化の歴史を今に伝える空間に幻想的な世界が拡がります。

##### 坂本龍一＋高谷史郎「LIFE-WELL」インスタレーションライブ

11月2日（土）15:00開演

会場：野田神社能楽堂・境内（山口県山口市天花1丁目1-2）

出演：坂本龍一、Ametsub

##### 坂本龍一＋高谷史郎「ART-ENVIRONMENT-LIFE」

11月1日（金）－2014年3月2日（日） 10:00－19:00 入場無料

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA、スタジオB、ホワイエ

10周年記念祭のアーティストック・ディレクターを務める坂本龍一が、アーティストの高谷史郎とともに、10周年記念祭のテーマに正面から取り組む大規模な展覧会。すでに先行して公開している「Forest Symphony (フォレスト・シンフォニー)」のほか、2007年にYCAMで発表した「LIFE-fluid, invisible, inaudible... (ライフフルイド・インビジブル・インオーディブル)」の新バージョン、そして最新作「water state 1 (ウォーター・ステート・ワン/水の様態1)」を発表します。